

第4回 地域おこしセミナー 演習林での造林

令和6年12月19日(木)、宇都宮大学農学部附属船生演習林にて、宇都宮大学の大久保達弘名誉教授を講師として、第4回地域おこしセミナーが開催されました。矢板市林業・木材産業成長化推進協議会や国・県の皆様とともに、座学および試験地において「演習林での造林」を学びました。

スギ・ヒノキの密度効果試験については、本数が少ないと枯死が発生せず、寸胴な形状になること、本数以外にも地位の影響を受けること、広葉樹林の管理については、用材を仕立てる場合は、造林初期に定めないと難しいこと、ナラ枯れの対応については、林内の状況により判断していくことなどの説明をいただきました。



個人プロジェクトを発表する室井隊員



個人プロジェクトを発表する佐川隊員



大久保達弘名誉教授による座学



密度効果試験地



ナラ枯れ被害エリアでのフィールドワーク



集合写真